



# 子育てLabo

## 今月のトピック

### ～ 10月は「里親月間」です ～



#### 里親という生き方、始めませんか？

里親制度とは、さまざまな事情で家族と離れて暮らすこどもを自分の家庭に迎え入れ、家族に代わり温かい愛情と正しい理解を持って養育する制度です。

#### 里親制度がこどもにもたらす良い影響

- 安心、信頼できる大人との出会いが、安心感、自己肯定感、人への信頼感をはぐくむことができる
- 地域の中で社会性を身に付けることができる
- 多様な生活体験によって、生活スキルを学ぶことができる
- 自身が将来家庭を築くうえでの家庭モデルとすることができる

#### 里親に関する相談・お問い合わせは

- 里親支援センター ゆうり ☎0965-62-8998
- 氷川町こども家庭センター ☎0965-62-3456

#### イベントのお知らせ

- ・日時 10月25日(土) 13時～16時
- ・場所 八代市役所1階多目的ホール
- ・内容 里親制度の説明・映画上映会  
里親制度についての個別相談
- ・お問い合わせ  
里親支援センターゆうり  
☎096-234-8967



申込QRコード ▶



**無意識のものの見方や偏見**

私が以前、教諭をしていた時の話になりますが、初めて小学校1年生の担任をすることになり、入学式に向けて子どもたちのくつ箱の準備をしていました。いつものとおり男の子には青色のシール、女の子には赤色のシールに名前を書いて貼っていました。ふと隣の学級の名札を見ると、男女ともピンク色のシールに名前を書いて貼ってありました。不思議に思い、教諭にそのわけを尋ねてみると「男女で色分けする必要があるので「自分自身の意識と子どもたちの意識を変えるためです。」と答えられたことを思い出します。私にとっては、この事が今でも心に残っていて、自分の

偏ったものの見方に気付かされた出来事でした。

また、この勤務していた学校では、今まで男女別に実施していた名簿を混合名簿にしたり、運動会のかけっこを男女混合で実施したりして、性別に特に関係のないことは、男女一緒にするように変えていきました。

現在も、昔から伝わっている「迷信」や「風習」には、人々に信じられているが合理的な根拠を欠いているものもあります。みなさんも自分自身のものの見方を再度、見つめ直してみましよう。



人が尊重され、  
生きがいを感じられるあたたかい町

## 人権啓発コーナー

問 生涯学習課 ☎0965-52-5860

毎月11日は人権を確かめあう日です

人権に関する動画を放映します。  
皆さんの参加をお待ちしています。

- テーマ 「企業と人権」
- 日 時 10月10日(金) 13時30分
- 場 所 氷川町文化センター ロビー



## 町民文芸

投稿先 〒869-4814 氷川町島地642番地 企画財政課宛 (毎月5日必着)

### 短歌

氷川町の水田地帯が青田から  
稲穂田に変わり実りの秋を待つ

西上宮 廣瀬 小亀

白内障術後の結果嬉しきて  
花々鮮む花心

西野津 古崎 栄子

日付け明け雷のひびきて雨の音  
稲田冠水道路はらんらん

西野津 古崎 スエノ

遠き日の灰となりたる夏の花  
廃墟の脇をサルビアの列

北野津 井田 道寛

秋めくや雲の姿の豊かなり  
鯛さば雲うるこ雲

西上宮 廣松 真実子

先人たちは魚好みや？

西上宮 廣松 真実子

家庭菜園のサトイモの育ちを  
秋雨が応援

西上宮 廣瀬 小亀

洗顔後ひんやり化粧水夏の朝  
残照を川面に映し夜混じる

西野津 古崎 栄子

曾孫の自由研究マヨネーズ  
空蟬や転生跡の背の裂け目

西野津 古崎 スエノ

アマリリス五鉢五部屋を彩れり

西上宮 廣松 真実子

### お知らせ

#### 文学散歩参加者を募集します！

日本で最も豊かな隠れ里「人吉、球磨」街道をゆく2013年秋に「じゅぐりっと博覧会ひとよし文学碑めぐり」が開催されました。今回は、人吉市を訪れた与謝野夫妻の文学碑めぐりを企画しました。加えて、人吉城歴史館にて鎌倉時代から670年という長期間この地「人吉、球磨」を治めた相良氏に係る歴史、文化、産業、人々の暮らしなどについての研修を予定しています。

- ◆期日 11月12日(土) ◆場所 人吉市
- ◆参加費 3,500円(当日集金)
- ◆募集人数 20人程度
- ◆申込期間 10月7日(土)～11月1日(土)
- ◆申込先 八火図書館・竜北歴史資料館

## 八火図書館だより

☎0965-62-3489

### 新着図書紹介

- 一般書  
飛越 / 馳 星周  
ダークネス / 桐野 夏生  
小さいわたし / 益田 ミリ  
80代から人生を楽しむ人、後悔する人 / 『PHP』編集部
- 児童書  
ぼくのいえ / 鈴木 のりたけ  
かえるのほんや / やぎ たみこ  
ぶたすけのラッパ / やまざき ひろし  
本当の赤ずきん こどもは読んではいけません / フィリップ・ジャルベール

### おすすめ図書

少年とクスノキ / 東野 圭吾  
東野圭吾「クスノキ」シリーズより初の子ども向け絵本誕生！  
様々な困難を乗り越え、クスノキの女神に会いに行った少年に女神が見せてくれた未来とは・・・

### 俳句

家庭菜園のサトイモの育ちを  
秋雨が応援

西上宮 廣瀬 小亀

洗顔後ひんやり化粧水夏の朝  
残照を川面に映し夜混じる

西野津 古崎 栄子

曾孫の自由研究マヨネーズ  
空蟬や転生跡の背の裂け目

西野津 古崎 スエノ

アマリリス五鉢五部屋を彩れり

西上宮 廣松 真実子

『金閨寺燃ゆる』  
三島由紀夫「金閨寺」から その11  
法道寺 本田 花風

内海曰く、三島に生涯にわたって取り憑いた宿病は「離隔」である。端的にいえば、現実感の希薄さである。それがいかなるものであったかは、著作の随所で示されており、『金閨寺』においても重要なモチーフとなっている。三島の精神世界は、論理的なものや感覚的なもので成り立っており、その間にあるはずの感情や心理的なものが抜け落ちている。その欠落を両者で補っているのである。もう一つ付け加えておくべきところでは、それは三島の子どものような素朴さである。身構える必要がないところでは、彼はむしろやさしい人であった。この解釈は私にとっても実によく分かる説明である。

ここで少し横道にそれ、三島に関するエピソードを少し紹介しよう。  
昭和二十九年、十九歳の貞子は歌右衛門の楽屋で由紀夫と鉢合わせし、後日由紀夫から声を掛けられこれが二人のなれそめである。出された名刺に「帝国ホテル・由紀夫」とあって男の素性を知る。こうして「公威さん・こうい(本名平岡きみたけ)」「だこちゃん」のデートが始まった。ナイトクラブ「銀馬車」のツーショットは雑誌や文壇でも話題の写真で文学書などにも掲載されている。  
その後の二人のワンカット、旧華族の屋敷だった旅館に貞子を誘い・・・貞子は「向こうも初めてだったのではないかしら」と述懐している。由紀夫、二十八歳八月の時である。  
この二つのショットは、運命の男であった三島を象徴するものであり、内海健の前述の分析の根拠にある三島の身体的脆弱性を象徴する出来事である。それが後の肉体改造に始まるコンプレックス挑戦の始まりでもある。